

給付奨学金申請書（家計急変事由該当者用）

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、家計を急変させる予期できない事由が生じたため、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の給付奨学金（大学等における修学の支援に関する法律第4条及び独立行政法人日本学生支援機構法第17条の2に規定する学資支給金をいう。）を申請します。

※本用紙は、家計急変の事由が発生した日から3か月以内（所属する大学等に進学（高専の場合は4年次に進級）した人は進学（進級）後2か月以内）に、全ての項目に記入のうえ、スカラネット入力と同時に申し込んでください。

申請日（西暦）	年 月 日
---------	-------

「マイナンバー提出書」に記載されているIDを記入（下6桁を続けて記入）※パスワードを記入しないこと

申込ID	Z	D	2	0						
------	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

申請者本人（口欄は✓を記入）

所属する学校名							
氏名	カナ（姓）		カナ（名）				
	漢字（姓）		漢字（名）				
生年月日（和暦）	昭和・平成	年	月	日生	性別（任意）	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女

家計急変事由（口欄は✓を記入）

家計急変の事由が生じた生計維持者（原則父母、父母がいない場合は生計を維持する主たる人）	<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> その他(あなたとの続柄) ()
---	---

事由（①～④欄の該当する事由に○を記入）	提出する証明書（いずれかの欄に○を記入）
①生計維持者の一方（又は両方）が死亡	下記のいずれか ・ 戸籍謄本（抄本） ・ 住民票（死亡日記載）
②生計維持者の一方（又は両方）が事故又は病気により、半年以上、就労が困難	医師による診断書 及び（被雇用者の場合）雇用主による病気休暇（休職）等に係る証明書（※1）
③生計維持者の一方（又は両方）が失職（「非自発的失業」の場合に限る。）（※2）	下記のいずれか ・ 雇用保険被保険者離職票 ・ 雇用保険受給資格者証
④生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当 ア 上記①～③のいずれかに該当し、①～③の証明書を提出することができない。 イ 被災により、生計維持者の一方（又は両方）が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生	罹災証明書 及び 事情書
家計が急変した事由が発生した年月日（西暦）	年 月 日

※1 雇用されている者が病気により就労困難となった場合、①当該休暇（休職）期間、及び②当該期間中の給与等支給状況について記載した証明書（様式又はこれに準ずる書面）の提出が必要です。当該証明書は雇用主に作成又は押印を依頼してください。

※2 「非自発的失業」とは、雇用保険被保険者離職票（又は雇用保険受給資格者証）において、離職理由コードが以下に該当する場合をいいます。1A(11)、1B(12)、2A(21)、2B(22)、2C(23)、3A(31)、3B(32)、3C(33)、3D(34)

● 給付奨学金申請書の記入例

本用紙は、家計急変の事由が発生した日から3か月以内（所属する大学等に進学（進級）した人は進学（高専の場合は4年次に進級）後2か月以内）に、全ての項目に記入のうえ、スカラネット入力と同時に申し込んでください。

記載・押印漏れ等の不備がある場合は、申込みができません。

給付奨学金申請書（家計急変事由該当者用）

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、家計を急変させる予期できない事由が生じたため、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）を申請します。

※本用紙は、家計急変の事由が発生した日から3か月以内（所属する大学等に進学（高専の場合は4年次に進級）した人は進学（進級）後2か月以内）に、全ての項目に記入のうえ、スカラネット入力と同時に申し込んでください。

奨学金申込日（西暦）を記入してください。（本書類を記入した日）

申請日（西暦） 2020年 4月 10日

「マイナンバー提出書」に記載されているIDを記入（下6桁を続けて記入）※パスワードを記入しないこと

申込ID	Z	D	2	0	0	0	0	0	0	1
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

申請者本人（口欄は✓を記入）

所属する学校名		日本学生支援大学		
氏名	カナ（姓）	ショウガク	カナ（名）	タロウ
	漢字（姓）	奨学	漢字（名）	太郎
生年月日（和暦）	昭和・平成	13年 5月 1日生	性別（任意）	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女

家計急変事由（口欄は✓を記入）

家計急変の事由が生じた生計維持者（原則父母、父母がいない場合は生計を維持する主たる人）	<input checked="" type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> その他（あなたとの続柄）（ ）
---	--

事由（①～④欄の該当する事由に○を記入）	提出する証明書（いずれかの欄に○を記入）
①生計維持者の一方（又は両方）が死亡	下記のいずれか ・戸籍謄本（抄本） ・住民票（死亡日記載）
○ ②生計維持者の一方（又は両方）が事故又は病気により、半年以上、就労が困難	○ 医師による診断書 及び（被雇用者の場合）雇用主による病気休暇（休職）等に係る証明書（※1）
③生計維持者の一方（又は両方）が失職（「非自発的失業」の場合に限る。）（※2）	下記のいずれか ・雇用保険被保険者離職票 ・雇用保険受給資格者証
④生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当 ア 上記①～③のいずれかに該当し、①～③の証明書を提出することができない。 イ 被災により、生計維持者の一方（又は両方）が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生	震災証明書 及び 事情書

家計が急変した事由が発生した年月日（西暦） 2020年 4月 5日

※1 雇用されている者が病気により就労困難となった場合、①当該休暇（休職）期間、及び②当該期間中の給与等支給状況について記載した証明書（様式又はこれに準ずる書面）の提出が必要です。当該証明書は雇用主に作成又は押印を依頼してください。

※2 「非自発的失業」とは、雇用保険被保険者離職票（又は雇用保険受給資格者証）において、離職理由コードが以下に該当する場合をいいます。1A(11)、1B(12)、2A(21)、2B(22)、2C(23)、3A(31)、3B(32)、3C(33)、3D(34)

※事由②又は④の場合は、別途書類を学校より受け取り記入してください。

提出する証明書は、「給付奨学金申請書」と一緒に学校へ提出してください。